

令和7年度 第4回 藤沢市立大鋸小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年11月19日(水) 9時30分～11時30分

場 所 藤沢市立大鋸小学校 2階 指導室

出席委員	堀河 俊介(会長・保護者) 近藤 千鶴(副会長・大鋸小学校長) 高津 直子(大鋸小学校教頭) 田中 舞(保護者) 織部 朋子(大鋸地区社体協) 大谷 美津子(村岡地区青少年育成協力会) 渋谷 幸江(藤沢東部地区主任児童委員) 平石 美和(村岡地区主任児童委員) 金澤 健二(おはようボランティア) 芳我 美佳子(コーディネーター・保護者) <p style="text-align: right;">以上 10名</p>
次第	1 開会 2 会長 挨拶 3 議題 (1) 大鋸小学校の最近の様子、取り組みについて (2) 学校防災の取り組みについて (3) その他 4 校内参観 5 その他 6 閉会
協議内容	＊3(1) 大鋸小学校の最近の様子、取り組みについて 【大鋸小学校より説明】 ○最近の様子 運動会以降、各学年の遠足や校外学習等が続き、子どもたちにとって学びの多い2学期を過ごしている。1年生の俣野別邸公園への遠足では、「秋さがしビンゴ」を行い、グループで協力して楽しむ姿に成長を感じた。残念ながら、2年生のズーラシアへの遠足は、学級閉鎖があり12月に延期となった。インフルエンザの流行が心配だが、子どもたちが元気に学校へ来て、様々な学習や活動に参加してほしいと願っている。 本日は、学校公開日でもあるため、委員の皆様にも自由に校内を参観いただきたい。その際、保護者や地域関係者の立場に加え、子どもや先生になれるメガネをかけて、様々な視点でお気づきのことを教えていただきたい。 ○運動会について 今年度は、初めて午前中開催の運動会に挑戦した。昨年からの協議を重ね、これまでの運動会の達成感やクオリティーを下げない、種目数を減らさない運動会にしようと、工夫を凝らした。結果、教職員と児童が一丸となって、半日開催で大きな達成感を感じられる運動会となった。特に、6年生の係児童の動きや教職員との連携等が素晴らしかった。 ○全国学力・学習状況調査の結果と分析について 4月に全国の6年生と中学3年生を対象に行われている調査である。今回は、藤沢市の「結果と分析について」に沿って、本校の状況をお伝えする。

- ・国語、算数、理科ともに、教科の結果は県や市とほぼ同程度であった。
- ・児童質問紙の「教科〇〇の勉強は好きか?」「〇〇の学習は、将来、社会に出た時に役に立つと思うか?」に対する肯定的な回答が高く、主体的で前向きな気持ちが伝わってきた。
- ・どの教科も無回答率が低いことから、あきらめずに取り組む姿勢がくみ取れる。
- ・挑戦心、自己有用感、幸福感についての数値はどれも高く、人との関わり合い、学びの中で安心して過ごしていること、自己肯定感が高いことが感じられた。

【委員より】

- ・この調査はどれくらいの割合の子が受けたのか?
→当日欠席した子以外、全員が受けた。
- ・質問項目『地域の大人に、勉強やスポーツ、遊びや体験活動に関わってもらっているか』は習い事も含めての回答なのか?
→スポーツ少年団などは、『コーチは誰々のお父さん』との認識のため、この項目に該当しているようだ。スイミング等の習い事については分からない。

*3(2) 学校防災の取り組みについて

【大鋸小学校より説明】

- ・前回、8月の会議で藤ヶ岡中学校の取り組みや地域との連携について話し合った。その上で、大鋸小学校としては①備蓄品の整備②地域への発信に取り組んでいる。
- ・4年生は、総合と社会の授業で『自分事として考える』防災学習を行っている。(起震車の体験、学校内の防災設備や各家庭の防災用品を調べる、災害対応カードゲーム『クロスロード』を用いた学習等)
- ・学校での取り組みを地域へ発信するために『コミスク通信』を作成。みなさんのご意見を伺い、内容を精査して、地域へ送付予定。この通信は、地域の方々に知って欲しい内容を不定期だが継続して発信したいと考えている。

【委員より】

- ・地域の方も、防災についての学校の取り組みを目にすると、安心なのではないかと思う。
- ・『避難所を運営する人も被災者であり、避難者はお客様ではない』というメッセージをどう伝えるか。
→『共に助け合いましょう』というメッセージ性を大事にしたい。

【情報共有】

- ・市内中学校1年生総合学習で横浜国立大学の先生を招き講演後、各クラスでカードを使った学習を行った。「てくてくマップ」を利用して、村岡地区の防災について考える地域めぐり学習が行われた。

*3(3) その他

【大鋸小学校より】

- ・学校評価の子どもたちへの質問項目『先生や友達に進んで挨拶をしている』の『進んで』という言葉はどう扱うか、ご意見いただきたい。したい気持ち、できない気持ち、そういう部分を汲み取れるような質問にできないか。『学校や家庭で進んで挨拶をしようとしている』という質問に変えることを検討中。そんなことも考えながら、校内参観をお願いしたい。

*4 各自校内参観

*3(3)を受けて

【委員より】

- ・単純に『挨拶をする、されるのはすきですか?』という項目はあるのか?
- ・学校が何を知りたいかによるが、子どもたちが『したいと思っているかどうか』『実際にしているかどうか』、両方を問う質問にしてはどうか?
- ・回答結果から統計をとっているのなら、大きく質問事項を変えない方が良いのは?その上で、進んで挨拶ができていない子の気持ちを問う質問を追加してはどうか?
- ・声を出すことが挨拶なのか?会釈も挨拶?子どもたちはどんな風に捉えているのだろう?
- ・『進んで』という言葉を目にすることで、今はできていない子もじきにできるようになるかもしれない。そう考えると質問事項を変えなくても良いかもしれない。
→教師への質問事項(日頃心がけている)『子どもたちが場に応じた自然なあいさつができるように指導している』に対して、児童や家庭からはどうかを問う質問にしたい。
→挨拶はコミュニケーションの一つとして指導している。会釈も挨拶の一つだと考えている。

【校内参観を経ての感想】

- ・廊下や階段に貼ってあるダンゴムシのポーズなどの写真は、4年生の防災学習から出たものか?場に合った写真が貼ってあり、とてもわかりやすく良いなと思った。
→昨年度の保健委員会が作成したもの。昨年度から、休み時間に地震が起きたら、どこにいたらどうするか、などを避難訓練の中に取り入れた。
- ・スクリーンなどを活用した授業が新鮮だった。(図工の説明を動画でする)
- ・教室に誘導(声かけ)してもらえて、入りやすかった。
- ・低学年の外国語活動の授業は、遊びを交えた内容で、楽しく親しみやすく工夫されているのがわかった。
- ・コロナで中止されていた学校公開が再開され、授業参観とは違う日常を見れるのが嬉しい。
- ・休み時間を挟んでいるから、より日常的な様子が見られた。
- ・授業参観よりゆっくりみられていいね、という保護者の声があった。
- ・英単語で知らない単語が出ていてびっくり。おはボラで立っていると英語で話しかけてくる子もいる。
- ・「おはボラの人だよね?」「昨日も来てたよね?」「ギリっこの人がいる」等声をかけてくれる子がいて顔を覚えてくれていて嬉しい。気さくに挨拶してくれる子どもたちにホッとする。

*5 その他

【大鋸小学校より】

- ・次回、学校評価のアンケート記入へご協力お願いします。
- ・みなさんの気づきや声がとてもありがたく感じている。学校運営協議会委員の任期は2年で、今年度で満期となり、継続、交代などあるかと思うが、これからも学校を支える存在でいてほしい。
- ・防災については継続案件。来年度の検討案件などご意見もいただけるとありがたい。

次回開催日程 2026年2月16日(月)9時30分~

場所 大鋸小学校2階 指導室